

受付番号

2023-35

許可番号

大歯医倫 第 111293 号

研究課題名

ご遺体を用いた上・下顎関節腔内における非イオン性造影剤の経時的変化

研究責任者

上村 守

申請者

山根 款

研究終了日

2025 年 3 月 31 日

所属

解剖学講座

所属

歯学研究科（解剖学専攻）

職名

主任教授

職名

大学院 3 年生

申請の概要

生体の顎関節腔に造影剤を注入した場合、約 2 週間後には造影剤が排出（吸収）されているため、コーンビーム CT にて撮影しても造影剤は認められない。他方で、死体の顎関節腔に造影剤を注入した場合、どれくらいで造影剤が排出（吸収）されるのか、あるいは排出（吸収）されないのかについては不明である。

そこで、本研究は、献体のご遺体を用いた今後の顎関節研究のために、献体のご遺体の顎関節腔に造影剤を注入しコーンビーム CT にて撮影することにより、死体における造影剤の排出（吸収）の経時的変化について明らかにすることを目的とする。本研究により、死体における顎関節腔内の造影剤の排出（吸収）の経時的変化が明らかになれば、今後、献体のご遺体を用いた顎関節研究をより適切に実施することが可能になるものと期待される。